

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 22-039	
研究課題名	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>院内がん登録とDPC(Diagnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ)の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用方法を検討することを目的とします。</p> <p>使用するデータは匿名化し、どの研究対象者であるか直ちに判別できないよう加工されています。国立がん研究センターへの提供方法はアクセス権を付与された担当者のみが利用できるオンラインシステム上で行われます。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者より個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。国立がん研究センターから外部へのデータ提供は行いません。</p> <p>外部への成果の公表は学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われますが、常に集団を記述する数値データのみの報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わず、かつ特定の個人が発表成果から同定できないように十分に配慮されます。</p>
利用または提供する情報の項目	院内がん登録データ、DPC データ (性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細等)
対象者及び対象期間	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年院内がん登録データ ・2019 年 10 月～2022 年 3 月の DPC データ
利用の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市民病院 ・国立研究開発法人 国立がん研究センター
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 患者総合支援センター がん診療支援室長 伊藤 和彦
問い合わせ先	新潟市民病院 医療情報部 がん情報管理室 TEL:025-281-5151(内線:3211)
共同臨床研究機関	国立研究開発法人国立がん研究センター
備考	